

発議第10号

2016年主要国首脳会議の三重県開催を求める決議の提出について

上記の決議案を別紙のとおり提出する。

平成27年 3月31日 提出

平成27年 3月 日

提出者 鳥羽市議会議員 山本泰秋

賛成者 鳥羽市議会議員 井村行夫

賛成者 鳥羽市議会議員 坂倉広子

賛成者 鳥羽市議会議員 世古安秀

賛成者 鳥羽市議会議員 坂倉紀男

賛成者 鳥羽市議会議員 村山俊幸

2016年主要国首脳会議の三重県開催を求める決議

主要国首脳会議（サミット）は、世界の主要国の首脳が毎年、国際的な政治、経済問題について議論をする重要な会議であり、現在では、地球環境問題や平和問題など国際社会が直面する多種多様なテーマを話し合う場として、その重要性はますます高まっている。

2016年のサミットは我が国での開催が予定されており、現在、政府において開催地の選定作業が進められている。

こうした中、本市は、伊勢志摩地域でのサミットの開催を目指して設立された「2016年みえ伊勢志摩サミット誘致推進協議会」に参画し、官民一体となって誘致に向けた取組を強力に推進している。

伊勢志摩地域は、「伊勢神宮」など日本を代表する観光資源と歴史・伝統文化に恵まれているほか、警備上の優位性とこれまでの国内外の要人警護の豊富な経験を有しており、各国の首脳を迎えるのにふさわしい条件が調っている。

「みえ伊勢志摩サミット」が実現すれば、国際観光文化都市である本市が有する多様な魅力を国内外に発信する絶好の機会となり、多大な経済効果等が見込まれることから、「みえ伊勢志摩サミット」の実現は、本市においても、大きな意義を有するものである。

よって、本市議会は、2016年主要国首脳会議の三重県における開催を強く要望する。

以上、決議する。

平成27年3月31日

鳥羽市議会